

LEATHER & SILVER TOYS MUSEUM H. MOTOIKE



# 本池美術館

MOTOIKE MUSEUM OF LEATHER ART

2021 3月31日 OPEN

10:00 - 17:00 休館日 水・木

一般 500円 中高生 300円 小学生以下 無料



## 【ご来館されるお客様へのご協力をお願い ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策】

- ・マスクの着用、咳エチケット、手洗いや手指消毒にご協力ください。 マスクを着用でないお客様の入館はご遠慮いただきます。
- ・37.5度以上発熱のある方はご入館できません。
- ・館内に設置している消毒液で必ず手指の消毒をお願いします。受付に自動検温可能なサーモグラフィーを設置しております。
- ・密集が懸念される場合には、入場を制限することがあります。
- ・咳、のどの痛み、くしゃみ、鼻水などの風邪の症状がある方、体調がすぐれない方はご来館をお控えください。



MOTOIKE HIDEO  
**本池 秀夫**  
革人形師



本池秀夫は世界で唯一無二の革人形師です。幼少の頃から革を触ることでなぜか不思議と気持ちが落ち着いたという。

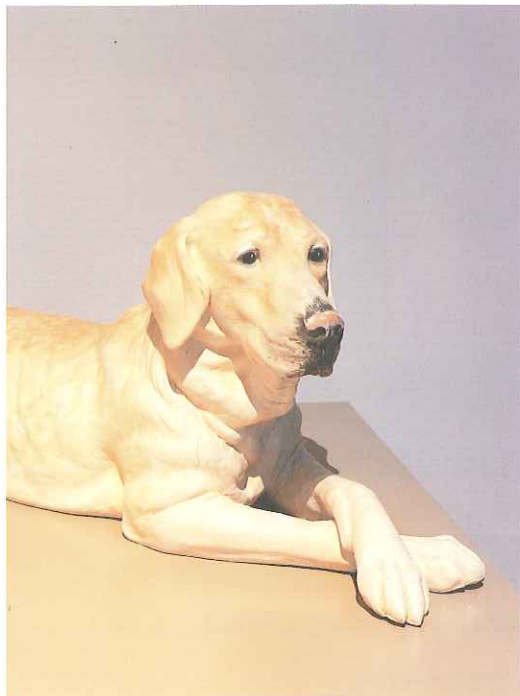
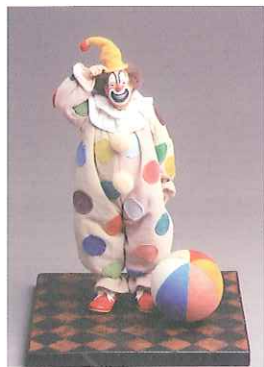
革人形を作るきっかけは大学在学中旅したローマの骨董屋で出会った古い磁器人形の緻密さに感銘を受け、革であればさらにリアリティーを追求できるという思いでした。

以来、老人や子供の何気ない日常のひとコマを題材とした「革の人形」や実在の動物を等身大で表現した「革の動物」など製作活動を展開しています。

本池は次のように述べています。『革は動物の一部です。食用になった後、いわば廃物である「皮」が加工され「革」になります。そこに自らの感性や技術を活かし、新たな「生」を吹き込むのが私の仕事です。その興味は尽きることがありません。』

イタリア、東京、そして故郷である鳥取での創作活動も50年を迎え、この度美術館をオープンする運びとなりました。今まで誰も見たことのないような「革の世界」をお楽しみ下さい。

- 1951年 鳥取県米子市に生まれる。
- 1975年 「アメリカ建国200年祭 ノーマン・ロックウェル展」に賛助出品し、翌年初の個展「本池秀夫の人形展」を開催。
- 1988年 作品集「LEATHER DOLLS 老人と子供」(美術出版社)発行。
- 2009年 米子市美術館25周年特別企画展「本池秀夫 革の世界」開催。以降全国で巡回展開催。
- 2013年 テレビ朝日「徹子の部屋」出演。
- 2016年 全国で初めて革工芸で県指定の無形文化財保持者に認定される。



MOTOIKE MUSEUM  
OF LEATHER ART.

Web: [www.motostyle.jp](http://www.motostyle.jp)

鳥取県米子市大篠津町 4841  
Tel/Fax : 0859 - 25 - 0550  
[交通] JR 境線 大篠津駅より徒歩12分  
米子鬼太郎空港より車で5分 (駐車場あり)